

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (四国)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	衣料品専門店 (総務担当)	単価の動き	・11月は気温が低く、コートなどの重衣料の動きが改善した。客単価が上昇しており、全体の売上も底上げされ、前年比5%強プラスになった。
	変わらない	商店街(代表者)	来客数の動き	・秋物商戦がかなり好調に推移している。来街客も土日を中心に観光客がかなり入っており、特に3連休はかなりのぎわった。しかし、顧客の財布のひもは固い。
		商店街(事務局長)	来客数の動き	・寒さが本格化して衣料品等の動きは堅調さが見られるが、一方で総選挙が決まったため、12月前半くらいまでは人の動きや消費は鈍くなると考えている。
		百貨店(総務担当)	来客数の動き	・来店客数の動向および歳暮受注状況の動向から、変わらないと判断する。
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	・来客数は前年比プラスになっているが、顧客は好みのものしか買わない。
		スーパー(企画担当)	来客数の動き	・好調な企業と悪い企業が極端になってきており、競合の状況が変わってきている。
		スーパー(財務担当)	来客数の動き	・3か月前と比較して、特に大きな変化はない。売上高、来客数ともほぼ前年並みである。
		衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・今月中旬から気温が低下したため、冬物の売行きが、ほぼ前年並みになっている。
		その他小売 [ショッピングセンター](副支配人)	販売量の動き	・衣料品関連が上向きになっている。
		観光型旅館(経営者)	単価の動き	・人の動きも良くないし、宿泊や宴会の単価の高い顧客の利用が減っている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月が秋のお遍路のピークなので、売上はますますであった。しかし、街中は昼も夜も人が少ない状況が続いている。
		通信会社(社員)	販売量の動き	・競合他社も含めて、話題性の高いモデルが秋までに発売しており、年末商戦は盛り上がらないように思う。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・新商品ラインナップがそろそろ前であり、他社との競争が更に激化している。
		設計事務所(職員)	販売量の動き	・今年も例年どおり、年度末の納期に向けて、販売量が増えている。耐震・防災事業については、発注規模に大きな落ち込みがなく、例年並みを維持できそうである。
	やや悪く なっている	商店街(代表者)	お客様の様子	・年末の総選挙は消費の低迷に繋がり、選挙後は、これまで以上に政局の混乱が加速すると考えられる。来年度の中小企業支援政策打ち切りも、かなり影響すると思う。
		一般小売店[生花](経営者)	販売量の動き	・法人の御祝用商品はこれまでとあまり変わらないが、個人消費が少ない。また、繁華街の人出が少なく、活気がない。
		一般小売店[酒](販売担当)	お客様の様子	・とにかく街中心部の人口が少なすぎる。住まいもショッピングセンターも郊外型になってしまっ、中心部では商売が成り立たない。
		一般小売店[書籍](営業担当)	販売量の動き	・店頭売上も外商売上も前年割れとなっている。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数の前年割れを営業努力による客単価アップで補っている状態である。
スーパー(店長)		販売量の動き	・特売商品の単価もますます下落しているが、価格を下げても販売量が減っている。必要な物以外は買わないという状況である。	
コンビニ(店長)		来客数の動き	・ポイントやクーポン等の利用率が上昇しており、節約志向が強くなっている。特にポイントカードの利用者が50パーセントに達している。	
コンビニ(総務)		来客数の動き	・前年に比べ、来客数が目に見えて悪化している。	
乗用車販売店(役員)		販売量の動き	・エコカー補助金が9月で終了し、受注は減少傾向にある。しかし、11月は予想していたほど販売は落ちず、景気の状態がつかみにくい。	

	その他飲食 〔ファースト フード〕（経営 者）	来客数の動き	・チラシを入れても反応が悪く、売上に結び付かない。	
	都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・宿泊や宴会はまずまず堅調であるが、地元客の多いレストラン部門の来客数と客単価が落ちており、景気はまだ底についていないと感じる。	
	旅行代理店（支 店長）	販売量の動き	・個人旅行では、円安と尖閣諸島問題による需要低迷で海外旅行が落ち込んでいる。また、団体旅行も昨年より減っている。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・官製談合問題で、建設関係の飲食がなくなり、夜の街は冷え込んでいる。昼間の状況は、3か月前と比べてやや悪くなっていると感じる。	
	通信会社（企 画）	お客様の様子	・顧客の商品への関心度合いが下がってきていると感じる。	
	ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・秋のゴルフシーズンに期待していたが、前年に比べると非常に悪くなっている。	
	競艇場（職員）	販売量の動き	・今月の売上高は、前月比で4.0%減、3か月前比で19.1%減となった。今月は大きなレースがなく、来場者も少なく売上増には結び付かなかった。	
	美容室（経営 者）	お客様の様子	・12月まで利用を控える動きがあって毎年11月は来客が少なく、さらに消費意欲の冷え込みで厳しい状態である。	
	美容室（経営 者）	お客様の様子	・同業者や低価格店が増えて顧客の獲得が難しくなってきた。	
	悪く なっている	乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金終了の反動が徐々に出始めている。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金終了後の10月から販売量は激減しており、前年比70%前後で推移している。自動車販売業界の景気は悪くなっている。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・買得感を提示してもニーズの掘り起こしが出来ず、ユーザーの購買意欲は冷え切っている。前年を大きく割り込む見込みである。
企業 動向 関連 (四国)	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	パルプ・紙・紙 加工品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・季節商材のキッチン関係や化粧品の売上が伸びている。
		一般機械器具製 造業（経理担 当）	受注量や販売量 の動き	・国内部門は復興需要関連の引き合いが強く好調である。また、海外部門は円安により採算が好転している。
	変わらない	繊維工業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・前年と比べて売上は伸びているが、全体的に見て、あまり景気が良いとは実感できない。
		木材木製品製造 業（経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・復興需要は今年度は大きく見込まれないと思う。また客単価は下落しつつある。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・機械の受注や装置の建設は非常に悪いが、大型太陽光発電の部門は受注も順調で引き合いも多く、非常に忙しい。全社的に見ればまずまずである。
		電気機械器具製 造業（経理担 当）	受注量や販売量 の動き	・低調な状況であるが、受注量も在庫も大きな変動はない。
		建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・相変わらず受注が伸びない。
		輸送業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・売上等は特に変化が無く、変わらない。
		輸送業（営業）	受注量や販売量 の動き	・取扱量はやや回復しているが、前年並みにまでは戻っていない。暖房器具等の季節商材の消費が見込まれるが、消費者の購買意欲が低く、取扱量は伸び悩んでいる。しかし、太陽光発電や省エネ給湯機の取扱量はエコ志向の高まりから大幅に増加している。
		輸送業（支店 長）	受注量や販売量 の動き	・公共投資による取扱量に変動は無く、燃料価格等のコストも落ち着いており、来年3月まではこの状態が続くと思う。
		広告代理店（経 営者）	取引先の様子	・現状では受注量、受注価格や資材価格などに大きな不安要因は無いが、好転する要因も無い。
	やや悪く なっている	通信業（部長）	取引先の様子	・衆議院の解散を受けて、先行きが不安視され、取引先企業からの引き合いは模様眺めの状況である。
		金融業（融資担 当）	取引先の様子	・売上が多くの業種で減少しており、値下げを行っても節約志向が強く、売上が伸びない。
		公認会計士	取引先の様子	・今月の関与先企業の決算を見ると、引き続き前年比でマイナスになっている企業が圧倒的に多い。

	悪く なっている	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・円高の影響により、受注量・受注価格が低下している。
雇用 関連  (四国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	それ以外	・10月の月間有効求人倍率は0.80倍で、3か月前より0.07ポイント上昇している。
	変わらない	人材派遣会社（営業）	求職者数の動き	・日雇い派遣が原則禁止となり、日々の収入で生計を立てていた求職者の仕事的大幅に減少傾向にある。一方で、常勤雇用は大きな変化が見られない。
		学校〔大学〕（就職担当）	求職者数の動き	・求人はある程度あるが、求職者数は減っていない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・製造関係の求人が減っており、景気に陰りがみえる。
		求人情報誌（営業）	求職者数の動き	・企業が求人広告を出しているが、未経験者から管理者層まで幅広い層の応募が不足している。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・製造業を中心に人員整理が発生した。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比6.7%減で、5か月連続減少している。求人数減少の要因としては、需要の停滞、売上の減少、競争激化に伴う取扱量の減少等となっている。
悪くなっている	民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・中途採用を計画している企業が減ってきている。また、来年度以降の採用を予定している企業数も減少している。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・近隣の大型スーパーが大きなイベントを開催していたが、集客は今一つであった。広告出稿も金融、官庁、不動産業を中心に不調である。夏以降冷え込んでいる。	